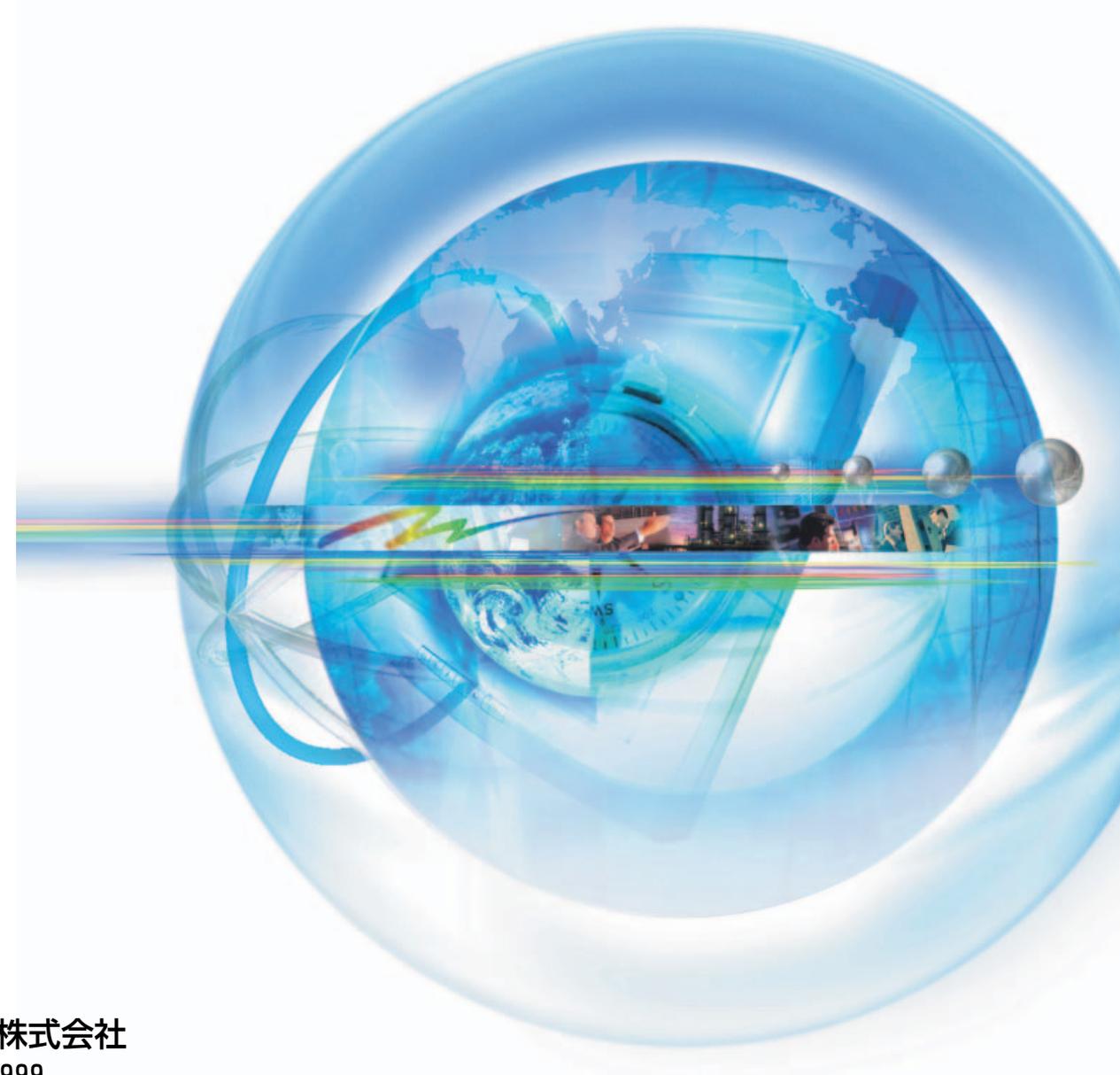




<http://www.mutoh.com>

このホームページアドレスから、武藤工業(日本)、ムトーヨーロッパ社、ムトーアメリカ社へアクセスできます。



コーポレートメッセージ

創造、大切にします

●●● 経営理念 ●●●
 人間を尊重する
 社会に貢献する・常に先んずる

株主の皆さまへ To Our Shareholders



代表取締役社長
加賀 市喜

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第55期事業報告書をお届けするに際し、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、将来に向けての積極的な開発投資と競争の激化に耐える高品質・低コストへの生産ライン見直しなど、海外子会社を含めたグループ全体の事業基盤の強化をはかるべく経営戦略を展開してまいりました。当期の業績につきましては、年明けに投入した大判フルカラーインクジェットプリンタの新製品が売上高に寄与したものの、国内市場の競争激化やアジア市場での低価格化の進行もあり、連結、単体とも前期に比べ減収減益となりました。

当社グループでは、市場や経済環境など外部要因の変化によって業績が大きく左右されることなく、安定的な利益確保と継続的な利益配分の実施ができる事業構造をめざしております。将来に向けての「成長への投資」を実施すべく、当社グループの経営基盤を支える「情報画像関連機器事業」、「情報サービス事業」に対し、次のような重点目標を定めます。

情報画像関連機器事業

開発部門では高付加価値を生み出すテーマ、新市場を切り開くテーマに対して積極的な投資を行うと同時に、急激に変化する市場環境、競合他社製品に対し、柔軟ですばやい対応ができる当社独自の技術ノウハウの蓄積、設計品質の確立をめざします。生産部門では現在推進しております生産革新運動を更に拡大し、高品質とコストダウンを推進いたします。また、営業部門は市場環境やユーザーニーズを的確に把握し、開発・生産部門と連携を密にして、新たな商品を市場に提供する「製販一体型の事業体制」を強化してまいります。

情報サービス事業

製品別に分散している組織体制を集約し、営業効率を高めるとともに、CAD事業については、システムメーカーとして永年培った図形情報処理のノウハウを活かし、顧客満足度の高い製品の企画・開発に全力を注ぎ、「需要創造型事業」をめざしてまいります。

なお、当期の配当金につきましては、誠に遺憾ながらその実施を見送らせていただきます。たいへん申し訳なく、深くお詫び申し上げますとともに、よろしくご理解を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当期の概況・次期の見通し

■営業の概況

当期における経済環境は、期初ではイラク情勢による経済不安がありながらも期後半には米国をはじめとする世界的な経済環境の好転傾向が見られます。

同様に国内環境におきましても、アジア向け輸出ならびに大企業の製造業を中心とした設備投資の増加、株式市場の回復等から緩やかながらも景気は回復基調にあるものと思われまます。

しかしながら、個人消費や中小企業の回復は依然力強さに欠け、本格的な景気回復には至らないまま推移してまいりました。

こうした状況の中、当社では積極的な開発投資や高品質・低コストへの生産ライン見直しなど、引続き事業基盤の強化に向けた経営戦略を展開してまいりました。

連結売上高では、大判フルカラーインクジェットプリンタ関連での国内需要の低迷と低価格化傾向の進行から265億1百万円(前期比2.5%減)となりました。

損益面につきましては、当初予定しておりました事業基盤強化策としての開発費増加に加え、競争の激化や市場拡大に伴う低価格化の進行が影響し、原価率低減および経費削減に努めたものの、

営業利益で9億49百万円(前期比54.8%減)、経常利益で10億49百万円(前期比41.4%減)となり、当期純利益で6億22百万円(前期比28.1%減)となりました。

単独業績につきましては、競争激化の影響等から売上高は173億21百万円(前期比7.4%減)となりました。損益面につきましては、営業利益で37百万円(前期比90.8%減)、経常利益で1億18百万円(前期比73.4%減)、当期純利益で1億円(前期比16.8%減)となりました。

■次期の見通し

経済環境は回復傾向とはいえ、当面は厳しい状況が続くものと想定されます。

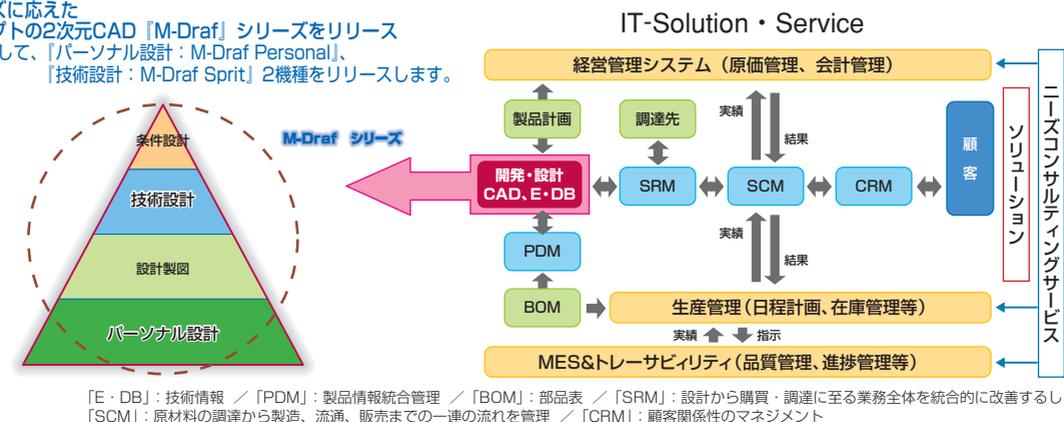
当社およびグループ各社では、このような環境の中で前述の経営戦略を展開し、収益性の向上に努めてまいります。

次期の業績見通しにつきましては、連結売上高275億円、経常利益10億50百万円、当期純利益6億50百万円を見込んでおります。

情報サービス事業の強化 ～設計開発から生産管理までの一元データ管理システム構築～

- ①エンジニアリングシステム
 市場での2次元データの重要性と活用のニーズが大きいことから、主力である2次元CADを新コンセプトのもと新たに開発し、ユーザーニーズに合わせたラインアップ強化とデータ管理システムのシリーズを順次リリースいたします。製造業という経験を活かし、設計の合理化・迅速化・生産性の向上のソリューションの開発に注力してまいります。
- ②システムインテグレーション
 過去20年以上にわたり培ってきた図形情報技術を利用し、垂直的な統合システム、水平的なデータマネージメントシステム等、あらゆる産業へのトータルなソリューションの提供をしてまいります。

市場ニーズに応えた
新コンセプトの2次元CAD「M-Draf」シリーズをリリース
 ・第1弾として、「パーソナル設計：M-Draf Personal」、
 「技術設計：M-Draf Sprit」2機種をリリースします。



[E・DB]：技術情報 / [PDM]：製品情報統合管理 / [BOM]：部品表 / [SRM]：設計から購買・調達に至る業務全体を統合的に改善するしくみ / [SCM]：原材料の調達から製造、流通、販売までの一連の流れを管理 / [CRM]：顧客関係性のマネジメント

財務の状況（連結）

■ 連結貸借対照表

科目	期別	
	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,769	16,789
現金及び預金	6,644	6,004
受取手形及び売掛金	6,442	5,957
たな卸資産	4,185	4,328
繰延税金資産	174	163
その他	409	412
貸倒引当金	△ 87	△ 77
固定資産	10,763	10,573
有形固定資産	9,338	9,592
建物及び構築物	4,111	4,283
土地	4,676	4,681
その他	549	626
無形固定資産	112	87
投資その他の資産	1,312	894
投資有価証券	939	579
繰延税金資産	215	152
その他	307	325
貸倒引当金	△ 149	△ 163
資産合計	28,532	27,363

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期末 平成16年3月31日現在	前期末 平成15年3月31日現在
負債の部		
流動負債	7,423	7,168
支払手形及び買掛金	4,292	3,857
短期借入金	500	750
一年以上返済予定の長期借入金	833	634
未払金	385	524
未払法人税等	220	61
その他	1,192	1,341
固定負債	3,722	3,276
長期借入金	1,850	1,933
繰延税金負債	202	62
退職給付引当金	1,480	1,087
役員退職給与引当金	95	75
その他	94	116
負債合計	11,146	10,445
少数株主持分		
少数株主持分	—	—
資本の部		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	4,592	4,592
利益剰余金	4,272	3,649
その他有価証券評価差額金	225	△ 46
為替換算調整勘定	△ 1,280	△ 1,255
自己株式	△ 624	△ 221
資本合計	17,386	16,917
負債、少数株主持分及び資本合計	28,532	27,363

財務の状況（連結）

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	前期 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売上高	26,501	27,193
売上原価	18,499	18,481
販売費及び一般管理費	7,052	6,613
営業利益	949	2,098
営業外収益	277	305
営業外費用	177	611
経常利益	1,049	1,792
特別利益	7	4
特別損失	14	321
税金等調整前当期純利益	1,043	1,474
法人税、住民税及び事業税	509	596
法人税等調整額	△ 88	11
当期純利益	622	866

■ 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	前期 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	4,592	10,829
資本剰余金増加高	0	—
資本剰余金減少高	—	6,237
資本剰余金期末残高	4,592	4,592
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,649	△ 3,453
利益剰余金増加高	622	7,103
資本準備金取崩高	—	6,237
当期純利益	622	866
利益剰余金期末残高	4,272	3,649

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	前期 自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,363	1,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 163	△ 76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 535	△ 1,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 25	42
現金及び現金同等物の増減額	639	△ 46
現金及び現金同等物の期首残高	6,004	6,051
現金及び現金同等物の期末残高	6,644	6,004

■ 連結対象関係会社

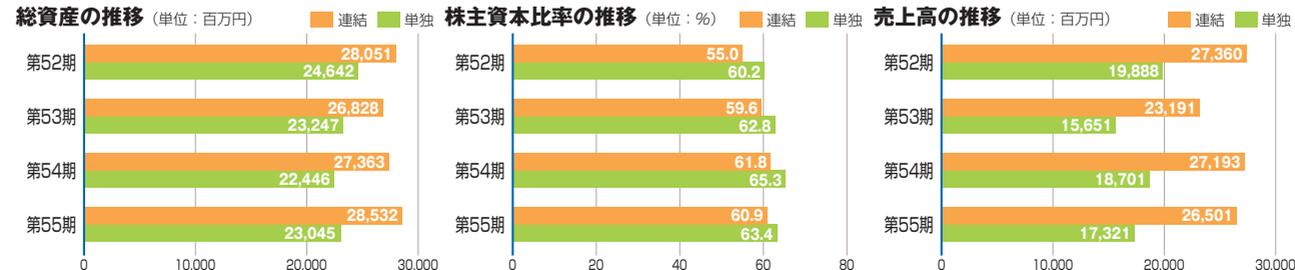
連結子会社（6社）

株式会社ムトーエンジニアリング、ムトーアメリカ社、株式会社ムトーエンタープライズ、ムトーヨーロッパ社、ムトーテクノサービス株式会社、ムトードイツ社

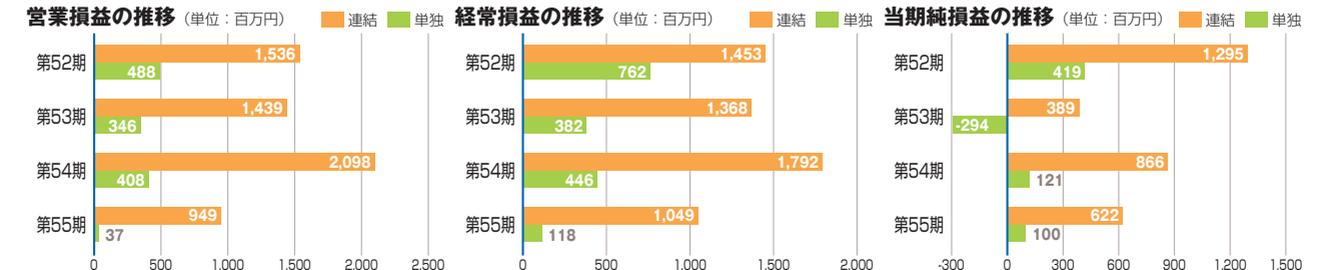
持分法適用関連会社（4社）

株式会社デジタルマトリックス、株式会社テクノバ、株式会社コスモ、ムトーメカトロニクス株式会社

業績の推移



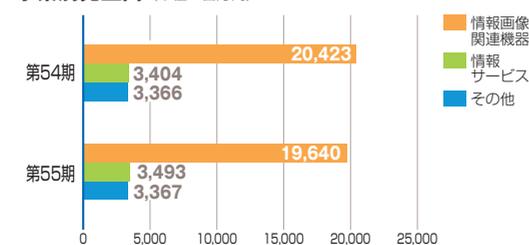
業績の推移



事業別などの概況（連結）

事業別売上高

事業別売上高（単位：百万円）



①情報画像関連機器事業

主力である大判フルカラーインクジェットプリンタが、国内、海外ともに、競争の激化や市場拡大に伴う低価格化の影響を受け、売上高は196億40百万円（前期比3.8%減）となり、営業利益は7億42百万円（前期比60.7%減）となりました。

②情報サービス事業

景況感の好転はあるものの、中小企業における情報化設備投資は依然として大幅に抑制されており、厳しい状況で推移いたしました。

売上高は34億93百万円（前期比2.6%増）となり、営業損益では31百万円の損失（前期比2百万円の改善）となりました。

③その他の事業

売上高は33億67百万円（前期比0.1%増）となり、営業利益は2億51百万円（前期比0.8%減）となりました。

所在地別売上高

所在地別売上高（単位：百万円）



■所在地別の状況

①日本

日本国内では、情報画像関連機器事業、情報サービス事業ともども、年度後半に新製品を投入するなど拡販に努めましたが、競争の激化と低価格化の進行により、売上高は179億26百万円（前期比3.6%減）となり、営業利益では4億54百万円（前期比34.4%減）となりました。

②ヨーロッパ

前年度に寄与した新製品効果も一段落したことから、売上高は71億37百万円（前期比4.6%減）となり、開発投資など営業費用が増加したことにより営業利益では6億92百万円（前期比56.4%減）となりました。

③北アメリカ

販売体制強化により、売上高は14億37百万円（前期比28.2%増）となりましたが、新製品の発売による営業費用が増加し、営業損益では1億21百万円の損失（前期比69百万円の悪化）となりました。

主な事業

情報画像関連機器事業

グラフィックアーツ用大判プリンタ、CAD図面出力用プロッタ、業界特化型プロッタ、イメージスキャナー等の製造・販売、関連サプライ品の販売

情報サービス事業

システムインテグレーション、ソフトウェア開発、CADおよび関連ソフトウェア販売

その他の事業

設計製図機械、光学式計測器、書籍・文具・事務機器・運動用補助品等の製造・販売、飲食業

主要な会社

武藤工業(株)
株ムトーエンジニアリング
ムトーヨーロッパ社
ムトーアメリカ社

武藤工業(株)
ムトーテクノサービス(株)
ムトーメカトロニクス(株)

(株)ムトーエンジニアリング
(株)ムトーエンタープライズ

財務の状況（単独）

■貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当期末	前期末
		平成16年3月31日現在	平成15年3月31日現在
資産の部			
流動資産		12,838	12,533
固定資産		10,207	9,913
有形固定資産		6,618	6,815
無形固定資産		95	68
投資その他の資産		3,493	3,030
資産合計		23,045	22,446
負債の部			
流動負債		5,428	5,190
固定負債		2,999	2,608
負債合計		8,428	7,798
資本の部			
資本金		10,199	10,199
資本剰余金		4,592	4,592
資本準備金		2,549	2,549
その他資本剰余金		2,043	2,042
利益剰余金		221	121
当期末処分利益		221	121
その他有価証券評価差額金		224	△ 44
自己株式		△ 620	△ 218
資本合計		14,617	14,648
負債・資本合計		23,045	22,446

■損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当期	前期
		自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
売上高		17,321	18,701
売上原価		13,456	14,602
販売費及び一般管理費		3,826	3,690
営業利益		37	408
営業外収益		329	367
営業外費用		247	330
経常利益		118	446
特別利益		12	—
特別損失		13	311
税引前当期純利益		118	134
法人税、住民税及び事業税		13	13
法人税等調整額		4	—
当期純利益		100	121
前期繰越利益		121	—
当期末処分利益		221	121

■利益処分

（単位：円）

摘要	金額
当期末処分利益の処分	
I 当期末処分利益	221,657,850
II 次期繰越利益	221,657,850
その他資本剰余金の処分	
I その他資本剰余金	2,043,126,071
II その他資本剰余金次期繰越高	2,043,126,071

情報画像関連機器

屋内外印刷物用大型フルカラーインクジェットプリンタ
「ラミレス」シリーズのラインアップ強化



「ラミレスECO」を2003年12月10日より発売しました。

- ・ 新型のEcoインクを採用し、環境優先社会に対応
- ・ 屋外広告看板に加え、屋内向としても充実の性能
- ・ 64インチと87インチの2機種をラインアップ

「ラミレスⅢ」を2004年2月3日より発売しました。

- ・ 新ヘッド採用により大幅なコストダウンを実現
- ・ 3年以上の耐光性、耐水性、耐擦過性
- ・ 連続運転に適した大容量インクタンク



Worldwideなプリントシステムを提案します

Japan



JAPAN SHOP 2004

2004年3月2日に東京ビッグサイトにて店舗総合見本市である「JAPAN SHOP 2004」が開催されました。当社からは屋外広告用グラフィックプリンタの新製品として、ラミレスECO、ラミレスⅢの2製品を出展。また、応用技術によりUVインクを多色化したUVカラー機を参考出品し、多くの来場者の注目を集めました。

Europe



DRUPA

2004年5月6日にドイツ、デュッセルドルフで開催されたDrupa国際総合印刷機材展に、ムトーヨーロッパ社から「ロックホッパー」シリーズを始めとする代表的な製品ラインアップを出展し、好評を博しました。同展示会は4年に1度開催され、出展社数は2千社近くに上り、来場者数も延べ40万人を超えるヨーロッパ有数の展示会です。

America



ISA SIGN EXPO

2004年4月14日にアメリカ、オーランドでISAサインエキスポが開催され、サイン業界から185社が出展し、多数の来場者を集めました。ムトーアメリカ社からは、TOUCAN/FALCONシリーズ等の屋外、屋内向け大判インクジェットプリンタのラインアップを豊富に揃え、来場者の注目を集めました。

諏訪工場 生産革新運動

当社諏訪工場では、従来のライン生産方式から、セル生産方式へ変革し『無駄のない生産の実現』に向け工場一丸となって、生産革新を推進しています。

セル生産イメージ



- ▶ : 作業
- ▲ : 製品
- : 部品棚
- ◎ : 作業者

セル生産とは、ベルトコンベア的なライン生産の工程数を圧縮し、作業グループが各セル（枠）単位に分かれ、少人数で生産する方式です。生産性が高く、少スペース、少人数生産で工程間の無駄を省きます。



* コンサルタントとの現場ミーティング



* セル生産の導入



* 「引取管理板」による改善事例

諏訪工場の地元で七年に一度の天下の大祭『御柱祭』が開催されました



株式の状況

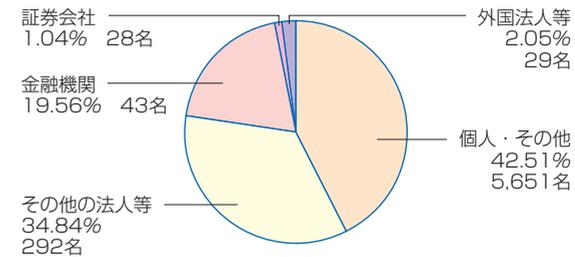
(平成16年3月31日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	170,000,000株
■ 発行済株式総数	54,818,180株
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 株主数	6,043名
■ 大株主	

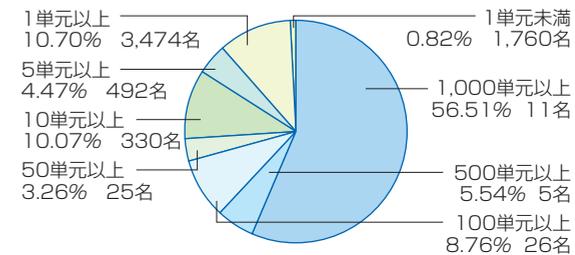
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
東京コンピュータサービス株式会社	13,200	25.68
武藤栄次	2,900	5.64
武藤洋	2,600	5.06
株式会社みずほ銀行	2,121	4.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (CMTBエクイティインベストメンツ株式会社信託口)	1,457	2.84
第一生命保険相互会社	1,359	2.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,356	2.64
武藤工業協力企業持株会	1,311	2.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,097	2.13
武藤郁子	1,001	1.95

自己名義株式は2,569千株となっております。自己名義株式は議決権がないため、上表の大株主には含めておりません。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目 33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 (03) 3323-7111 (代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
名義書換手数料	無 料

(お知らせ)

●住所変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求などに必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付を行っております。

また、次のホームページもご利用いただけます。
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

●当社は、前期より貸借対照表および損益計算書を、公告掲載新聞の決算公告に代えてホームページに掲載しております。ホームページアドレスは次の通りです。
<http://www.mutoh.co.jp/ir/kessankoukoku.html>

会社の概要

(平成16年3月31日現在)

商号	武藤工業株式会社 MUTOH INDUSTRIES LTD.
設立	1952年(昭和27年)3月5日
資本金	101億99百万円
従業員数	253名
事業所	本社：東京都世田谷区池尻三丁目1番3号 営業所：東京、大阪、名古屋 工場：諏訪

主な営業品目

- 情報画像関連機器事業
グラフィックアーツ用大判インクジェットプリンタ、CAD図面出力用プロッタ、業界特化型プロッタ、イメージスキャナ、関連サプライ品
- 情報サービス
2次元CADシステム、3次元CADシステム、関連ソフトウェア、システムインテグレーション

ホームページ

<http://www.mutoh.co.jp>

決算公告

<http://www.mutoh.co.jp/ir/kessankoukoku.html>

役員

(平成16年6月29日現在)

取締役会長	高山 允 伯
取締役社長 (代表取締役)	加賀 市 喜
取締役	大原 一 弘
取締役	神田 義 雄
取締役	アーサー・バンハウテ
取締役	伊藤 憲之介
取締役	服部 吉 格
常勤監査役	白土 剛 正
監査役	長 裕 二
監査役	小林 康 男